



## 命名

# Kino Iglu

初イベントをするにあたり活動名が欲しい。でも自分たちで名付けるのは少し恥ずかしい。

そんなふたりは、大好きだったフィンランドを代表する映画監督アキ・カウリスマキに果敢にも命名をお願いすることを思い付きます。

**有坂**——28歳の時、順也も僕も大好きだったアキ・カウリスマキ監督へ分厚い手紙を出しました。12月のはじめで。内容は、G.W.の頃に初のイベントがあるのでフライヤー・広報の関係で1月末までに僕たちに命名していただけるならお願いしたいというものです。あと、今の映画界状況も書いたりして。それと顔があった方が雰囲気も伝わるし良いと思って2人でチェキ写真を撮って同封して。 — 抜粋 — そんな中、1月末にアキ監督のプロデューサーから命名のメールが来たんです。

それが「Kino Iglu」(キノ・イグルー)でした。

大好きな監督からの直々の命名にふたりは信じられない気持ちだったでしょう。キノは「映画」、イグルーは「かまくら」の意味です。この「Kino Iglu」という名前には深い意味が込められていました。

**有坂**——実はアキ監督は10代でシネクラブを開催していたんです。そのときに「Kino Iglu」という名ですでに活動していて。昔の映画なんかも上映していた。ある日、そのシネクラブに参加したおばあちゃんから「良い映画をありがとう」と感想をもらったことがアキ監督の心に残っていて。この時彼自身が、映画がもたらす力を信じて監督の道へ進んだんです。ある意味、アキ監督の原点の時代です。この時代の「Kino Iglu」をもらった。

(すごい！監督からのれんを託されたようなものですね！)

**有坂**——そう、こんなワクワクすることが自分の人生に起こるんだ！って。アキ監督から「小さくまとまるな」と、道をももらった気持ちがありました。

こうして、ふたりが愛する大監督からの命名というはなむけと共に、2003年、有坂壘と渡辺順也の2人で結成された移動映画館キノ・イグルーが誕生します。